

もりおか  
 広域エリアで  
 いろいろな旅を  
 楽しもう

本州最大の広さを誇る岩手県は、西に奥羽山脈、東に太平洋を持つ、自然豊かな地。その中央部に位置するもりおか広域エリアは、県都・盛岡市を中心に8市町で構成されています。

藩政時代から明治・大正期の面影が残る盛岡市。周辺には、岩手山や八幡平、小岩井農場など、雄大な自然に触れられるスポットがいっぱい。また、三陸海岸や世界遺産「平泉」、日本の原風景が残る遠野へのアクセスもよく、「自然」「歴史」「暮らし」など、多様なテーマを持って旅することができます。

IWATE



岩手旅にかかせない3人の先人たち

みやざわ けんじ  
 宮沢賢治



資料提供 秋風舎

詩人・童話作家。明治29年(1896)に現花巻市に生まれ、37歳の若さで亡くなりました。花巻農学校で教鞭をとるかたわら、詩や童話を制作。賢治は、心象世界にある理想郷を「イーハトーブ」と名づけ、作品に登場させました。生前に発表された童話集は「注文の多い料理店」と詩集『春と修羅』のみですが、いまでは多くの作品が世界中で読まれています。

いしかわ たくぼく  
 石川啄木



歌人。明治19年(1886)、岩手郡日戸村(現盛岡市玉山区)に生まれました。盛岡中学(現盛岡一高)在学中に後に妻となる節子と知り合い、明治38年(1905)に節子と結婚。しかし、経済的に苦しく、翌年、浪民尋常高等小学校の代用教員として勤務。その後、明治43年(1910)に「一握の砂」を出版。明治45年(1912)に東京・小石川にて27歳で夭逝しました。

にとべい なごう  
 新渡戸稻造



学者。文久2年(1862)、盛岡市生まれ。教育者・農業者であり、国際連盟事務次長も務め、世界を舞台に活躍しました。38歳のとき、アメリカで書いた『武士道』は、流麗な英語で書かれ、刊行後、ドイツ語やフランス語などに訳され、ベストセラーに。58歳で国際連盟初代事務次長となり、国際平和に尽力し、ユネスコの前身である「知的協力委員会」を設立しました。